

海外旅行中のこんなときは! 日本語サービスセンターにご連絡・ご相談ください。

海外旅行中

- ◆ケガや病気になったとき
- ◆トラブル発生で困ったとき
- ◆長期滞在につき現地で保険金請求をしたいとき

日本語サービスセンター
にご連絡ください。

24時間・年中無休
日本語で!

無料通話・コレクトコール

「日本語サービスセンター」が
安心のお手伝い

◇キャッシュレス医療サービスを受けたい。

◇ケガや病気で緊急援助が必要。
日本語の通じる病院を紹介してほしい。

◇誤って他人のものを壊した。
◇誤って他人にけがをさせた。

◇パスポートが入ったバックごと盗難された。

◇カメラ(身の回り品)を落として壊れた。
◇航空会社に預けたスーツケースが破損した。

◇航空会社に預けた手荷物が6時間以上目的地に届かない。
◇搭乗予定の航空機が欠航となり、
やむなく宿泊した。

◇祖父が倒れ危篤状態に陥ったので急遽帰国したい。
◇旅行先で内乱が発生し危険を感じ即刻帰国したい。

◇レンタカー運転中に事故を起こした。
海外での自動車事故は、法律および保険内容が日本と異なります。

提携病院がお近くにある場合、ご紹介、お手配をいたします。
(弊社が直接病院に治療費をお支払いします。)

病院の紹介、入院手配、帰国手配等の
アシスタンスサービスを行います。

対処方法、必要書類等のアドバイスをします。
(賠償金額の決定には事前に弊社の承認を
必要とします。)

パスポート等盗難時の対処方法、手続きの
ご案内をします。

事故の内容に応じて、
適切な対処方法をアドバイスしたり、
保険金請求手続き等に関する
ご相談をお受けいたします。

ご契約関連

○契約の延長をしたい。 ○旅行中、従事される業務が
変更となった。
海外からの延長手続きは行なえません。 ○保険期間途中だが既に帰国した。
日本にいる代理の方を通じて、延長手続き、追加
保険料お支払いのお手続きをご依頼ください。

弊社または取扱代理店に
ご連絡ください。

日本語サービスセンターの連絡先

滞在先別電話番号一覧

[2016年9月現在]

弊社では海外旅行中の不慮の事故や病気に備え、プレステージインターナショナル社及びコーポレート・サービス・ネット
ワーク社と提携して「日本語サービスセンター」並びに「現地サービスセンター」を設置し、各種サービスを実施しています。

地域	滞在地	電話番号
全世界 (日本国内以外)	コレクト コール	(国番号81) 3-4335-1730 コレクトコールでの対応となりますので、詳しくは 下記「コレクトコールのかけ方」をご覧ください。
北米 中南米 ハワイ グアム サイパン	アメリカ本土・アラスカ・ ハワイ・グアム・サイパン	1-877-213-1913
	アルゼンチン	0800-666-1348
	ウルグアイ	0004-019-0424
	カナダ	1-877-791-2151
	コロンビア	018005-18-1444
	ブラジル	0800-892-3135
	ペルー	0800-54-436
アジア	メキシコ	001-800-514-6504
	中国 (北部) (※1)	10800-813-2781
	中国 (南部) (※2)	10800-481-2964
	香港	800-905-114
	台湾	00801-814650
	韓国	00798-817-1699
	シンガポール	800-810-2350
	インド	000-800-1007-801

(※1) 中国北部…華北地区 (北京市、天津市、河北省、山西省、内蒙古自治区)、東北地区 (遼寧省、吉林省、黒龍江省)
(※2) 中国南部…上記以外 (上海市、重慶市等)
(※3) インドネシアの無料通話、コレクトコールにつきましては、INDOSAT社と契約しているホテル、事務所、個人宅の
固定電話をご利用ください。
(※4) イタリアについては公衆電話からの無料通話は、ご利用になれません。

万が一

現地の電話番号等により各地区担当
のセンターに連絡が取れない場合は、
日本語サービスセンターにコレク
トコールで直接お電話ください。

日本語サービスセンター
(国番号81) **3-4335-1730**
日本国内からは、無料通話をご利用ください。 **0120-880-648**

コレクトコール (料金受取人払い) のかけ方

コレクト
コール

現地の電話局のオペレーターを呼び出します
(呼出番号は現地にてご確認ください)

コレクトコールを申し込みます (英語または現地語でのやりとりとなります)

①国名・都市名・電話番号をお伝えください

<いったん電話を切って呼び出しを待つ場合>

②ご自身のお名前をお伝えください

③おかけになっている電話番号 (ホテルの場合ホテル名・部屋番号)
をお伝えください

(例) ホテルの部屋から日本語サービスセンターにかける場合

- ホテルの交換に国際電話を申し込みます。
International call to Japan, please. (日本へ国際電話をお願いします。)
- 自分の名前と部屋番号を告げます。
This is Yamada, in Room 101. (こちらは101号室の山田です。)
- コレクトコール (料金受取人払い) の旨伝えます。
Collect call to Japanese Language Service Center in Japan, please.
(日本の日本語サービスセンターにコレクトコールをお願いします。)
The number in Japan is 81-3-4335-1730. (日本の番号は81-3-4335-1730です。)

▶「Hold on please」「Hold the line」▶「Hang up please」▶「On the phone.」(相手が出ました。)
と言われたら受話器を切らずに待ちます。と言われたら、一度切って待ちます。と言われたら、お話ししてください。

※ホテルのオペレーターから電話局のオペレーターにつなぐ場合もあります。その場合は、上記内容を繰り返し告げ、ホテルの名前も忘れずに加えてください。

Chubb 損害保険株式会社

TAD5214-01-1609

特にご注意いただきたい補償項目

※お客様がご契約された補償項目が適用されます。
(お手持ちの保険契約証をご確認ください。)

保険金の種類	保険金をお支払いする場合	お支払いする保険金	保険金をお支払いできない主な場合
治療・ 救 援 費 用	<div>●傷害治療費用部分 海外旅行中の急激かつ偶然な外来の事故によるケガが原因で、医師の治療を受けられた場合</div> <div>●疾病治療費用部分 ①海外旅行開始後に発病した病気が原因で、海外旅行中または旅行終了後72時間以内に医師の治療を受けた場合(ただし、その病気の原因が旅行中に発生したものに限りませう。)</div> <div>②海外旅行中に感染した特定の感染症(※)が原因で、旅行終了後からその日を含めて30日を経過するまでに医師の治療を受けられた場合</div> <div>(※)特定の感染症とは以下のものをいいます。 コレラ、ペスト、天然痘、発疹チフス、ラッサ熱、マラリア、回帰熱、黄熱、重症急性呼吸器症候群(SARS)、エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、マールブルグ病、クワンジイオデ症、デング熱、顎口虫(がっこうちゅう)、ウェストナイル熱、リッサウイルス感染症、腎症候性出血熱、ニパウイルス肺症候群、高病原性鳥インフルエンザ、ニパウイルス感染症、赤痢、ダー媒介性脳炎、腸チフス、リフトバレー熱、レプトスピラ症</div>	<div>●傷害・疾病治療費用部分 1回のケガ、病気につき次の費用のうち現実に支出した金額で社会通念上妥当と認められる費用を治療・救援費用保険金額の範囲内でお支払いします。(ただし、ケガの場合は事故発生の日からその日を含めて180日以内、病気の場合は医師の治療を開始した日からその日を含めて180日以内に必要となった費用に限りませう。)</div> <div>①医師または病院に支払った診療関係・入院関係費用(緊急移送、治療を受ける場合において医師の指示によりホテルで静養する場合のホテル客室料などを含まませう。)</div> <div>②治療のために必要となった通訳雇入費用、交通費</div> <div>③義手、義足の修理費(ケガの場合のみ対象となります。)</div> <div>④入院により必要となった a.国際電話料等通信費、b.身の回り品購入費(5万円限度)、a.とb.合計で20万円を限度とします。</div> <div>⑤旅行行程離脱後、当初の旅行行程に復帰または直接帰国するために必要な交通費、宿泊費(払戻しを受けた金額や負担する額を予定していた金額は差し引きませう。)</div> <div>⑥保険金請求のために必要な医師の診断書費用</div> <div>⑦法令に基づき、公的機関より解任後に汚染された場所または汚染された疑いがある場所の消毒を命じられた場合の消毒費用</div>	<div>●傷害治療費用部分 ①保険契約者、被保険者や保険金受取人の故意または重大な過失</div> <div>②自殺行為、犯罪行為または闘争行為</div> <div>③戦争、その他の変乱(注)</div> <div>④放射線照射、放射能汚染</div> <div>⑤無資格運転中・酒気帯り運転中(酒酔い運転を含みます)、麻薬等使用中の運転</div> <div>⑥脳疾患、心神喪失</div> <div>⑦医学的他覚所見のないむちうち症、腰痛</div> <div>⑧妊娠、出産、早産、流産または外科的手術等の医療処置</div> <div>⑨旅行開始前、旅行終了後に発生したケガ など</div> <div>(注)戦争危険等免責に関する一部修正特約が付帯されているため、テロ行為はお支払いの対象となります。</div> <div>●疾病治療費用部分 上記①～④、⑦に加え、 ・妊娠、出産、早産、流産、これらが原因の病気 ・歯科疾病 ・旅行開始前に発病した病気(既往症) など</div> <div>(注)日本国外においてカイロプラクティック、鍼(はり)または灸(きゅう)の施術者による治療を受けた時に支出した費用については保険金をお支払いできません。</div>
	<div>●救援費用部分 海外旅行中に被保険者が、 ①事故によるケガが原因で、事故発生の日からその日を含めて180日以内に死亡された場合</div> <div>②事故によりケガをされ、または発病した病気により3日以上継続して入院された場合(※1)</div> <div>③病気により死亡された場合</div> <div>④発病した病気により、旅行終了日からその日を含めて30日以内に死亡された場合(※1)</div> <div>⑤搭乗中の航空機もしくは船舶が行方不明もしくは遭難した場合または山岳登山はん中に遭難された場合</div> <div>⑥被った事故により生死が確認できない場合、緊急捜索・救助活動が必要な状態となったことが警察等の公的機関により確認された場合</div> <div>など</div> <div>(※1)旅行中に医師の治療を開始した場合に限りませう。</div>	<div>●救援費用部分 保険契約者、被保険者または被保険者の親族が現実に支出した次の費用で社会通念上妥当と認められる金額を、1回のケガ、病気、事故につき治療・救援費用保険金額の範囲内でお支払いします。</div> <div>①捜索救助費用</div> <div>②救援者の現地までの往復航空運賃等の交通費(救援者3名まで)(※2)</div> <div>③救援者のホテルなど宿泊施設の客室料(救援者3名かつ1名につき14日分まで)(※2)</div> <div>④救援者の渡航手続費、現地での諸雑費(合計で20万円まで)</div> <div>⑤現地からの移送費用(※3)</div> <div>⑥遺体処理費用(100万円まで)</div> <div>(※2)被保険者の生死が判明した後に発生した費用は対象になりませう。</div> <div>(※3)払戻しを受けた金額、負担することを予定していた金額、傷害・疾病治療費用部分で支払われるべき金額は差し引きませう。</div>	<div>●救援費用部分 上記①、③、④、⑦に加え、 ・自殺行為(死亡された場合を除きます。)、 ・犯罪行為、闘争行為 ・妊娠、出産、早産、流産、これらが原因の病気による入院 ・歯科疾病による入院 ・無資格運転中・酒気帯り運転中(酒酔い運転を含みます)、麻薬等使用中の運転に生じた事故による入院(無資格・酒気帯り運転による事故で死亡した場合は除きます。)</div> <div>・旅行開始前、旅行終了後に発生したケガ など</div>
携 行 品 損 害	海外旅行中に携行する、被保険者が所有または旅行開始前にその旅行のために他人から無償で借り入れた身の回り品(カメラ、衣類、航空券、旅券等)(※4)が盗難・破損・火災などの偶然な事故により損害を受けた場合 (※4)現金、小切手、クレジットカード、定期券、コンタクトレンズ、各種書類、サーフィン・ウインドサーフィン等の用具等を含みます。また、被保険者が滞在する居住施設内(一戸建て住宅の場合はその敷地内、集合住宅の場合は当該戸内)のもの、別送品も保険の対象に含まれませう。	携行品一つ(1点・組または1対)あたり10万円(乗車券・航空券の場合は合計5万円)を限度とし、時価額または修理費のいずれか低い額をお支払いします。 お支払いする保険金は、携行品損害保険金額をもって保険期間中の限度とします。ただし、 携行品損害保険金額が30万円を超える契約の場合、盗難・強盗および航空会社等寄託手荷物不着による損害については、30万円を限度に保険期間中の限度とします。 (注)運転免許証の盗難については再発給手数料を、旅券については 5万円を限度に 再発給費用(現地にて費用した範囲)に限りませう。交通費、宿泊費を含みます。)をお支払いします。	前記①、③、④に加え、たとえば、 ・無資格運転中・酒気帯り運転中(酒酔い運転を含みます)、麻薬等使用中の運転 ・携行品のかし(欠陥)または自然の消耗、さび、変色、虫食い ・ 携行品の置き忘れまたは紛失 ・山岳登山はん、ハンングライダーなどを行っている間に生じた用具の損害 ・単なる外観の損傷で機能に支障をきたさない損害 ・差し押え、破壊等の公権力の行使(ただし、火災消防・避難に必要な処置、空港等で安全確認検査のためにスーツケース等の錠を破損された場合はお支払いの対象となります。)
旅 行 中 の 事 故 に よ る 緊 急 費 用	海外旅行中に生じた予期せぬ偶然な事故(※5)がもとで、被保険者が費用の負担を余儀なくされた場合 (※5)公的機関、交通機関、宿泊機関、医療機関または旅行会社(ツアーオペレーターを含みます。))により、その発生の証明がなされる場合に限りませう。	被保険者が負担を余儀なくされた下記の費用をお支払いします(※6)。 ①交通費、②ホテル等客室料、③食事代、④国際電話料等通信費、⑤渡航手続費、⑥旅行サービス(の取消料、⑦身の回り品購入費で社会通念上妥当と認められる通常負担する金額)ただし、③食事代については次のa.またはb.のいずれかに該当した場合に、⑦身の回り品購入費については次のc.に該当した場合に限りお支払いします。 a.搭乗予定航空機の 6時間以上 の出発遅延、欠航、運休もしくは搭乗予約受付業務のかしによる搭乗不能、または、搭乗した航空機の着陸地変更により、 6時間以内 に代替機を利用できないとき。 b.搭乗した航空機の遅延等により、乗継予定航空機に搭乗できず、乗継地へ到着時刻から 6時間以内 に代替機を利用できないとき。 c.被保険者が乗客として搭乗する航空機の到着後 6時間以内 に、航空会社に連繋を寄託した手荷物が、目的地に連繋されなかった場合で、航空機が当該目的地に到着してから 96時間以内 に費用を負担したとき。 (※6)①～⑥の合計で旅行中の事故による緊急費用保険金額を保険期間中の限度とします。(ただし、③食事代については旅行中の事故による緊急費用保険金額の10%が保険期間中の限度となります。)また、⑦身の回り品購入費については、別途、旅行中の事故による緊急費用保険金額の2倍を保険期間中の限度とします。 (注)上記費用の発生または拡大の防止に要した費用のうちで、社会通念上必要または有益であったと認められる費用等についても保険金をお支払いできる場合があります。	前記①～⑤、⑦に加え、たとえば、 ・妊娠、出産、早産、流産、これらが原因の病気 ・保険契約者、被保険者または保険金受取人の法令違反 ・地震、噴火またはこれらによる津波 ・歯科疾病 ・運行時刻が定められていない交通機関の遅延または欠航・運休 ・山岳登山はん、ハンングライダー、自動車等の乗用具による競技・試運転、航空機操縦などを行っている間に生じたケガ など
旅行変更費用	次のような事由により出国を中止した場合または海外旅行を途中でとりやめ帰国された場合 ①被保険者、同行予約者(※7)(被保険者とあわせて以下「被保険者等」といいます。))または被保険者等の配偶者もしくは 3親等以内 のご親族が死亡された場合またはは危険となられた場合 ②(1)被保険者等がケガまたは病気を直接の原因として入院された場合(出国前の入院の場合は継続して 3日 以上)に限りませう。 (2)被保険者等の配偶者または 2親等以内 のご親族がケガまたは病気を直接の原因として継続して 14日 以上入院された場合 ③被保険者等が搭乗されている航空機、船舶が行方不明になった場合または被保険者等が山岳登山はん中に遭難された場合 ④事故により被保険者等の捜索または救助を要することが警察等の公的機関により確認された場合 ⑤被保険者等の居住する建物または家財に火災、震災、水災等が原因で 100万円以上 の損害が発生した場合 ⑥被保険者等が証人または鑑定人として裁判所に召喚された場合 ⑦被保険者等の渡航先または渡航予定先において、次に掲げる事由のいずれかが発生した場合 ・地震もしくは噴火またはこれらによる津波 ・戦争、内乱またはテロ行為 ・運送機関もしくは宿泊機関等の事故または火災・渡航先に対する退避勧告等の発出 ⑧被保険者等に対して官公署の命令、出入国規制または感染症による隔離がせられた場合 ⑨被保険者等に対して災害対策基本法に基づく避難の指示等が公的機関から出された場合 (※7)被保険者と同一の旅行を同時に参加予約された方で被保険者に同行される方をいいます。	保険契約者、被保険者、およびその法定相続人の方が負担した次の費用を旅行変更費用保険金額を限度にお支払いします。 ①出国を中止したことにより、取消料、違約料等の名目で旅行業者等に支払った費用、査証料、予防接種料などの渡航手続費として支払った費用(出国中止費用補償対象外特約を付帯している場合にはお支払いしません。) ②中途帰国したことによる、次の計算式により算出した額(企画旅行の場合) $\frac{\text{旅行変更費用}}{\text{旅行日程のうち、中途帰国した日以後の日程}} \times \frac{\text{旅行日程の全日数}}{\text{旅行日程の日数}}$ (上記以外の場合) ・中途帰国したことにより、取消料・違約料・旅行業務取扱料などの名目で旅行業者等に支払った費用 ・査証料、予防接種料などの渡航手続費として支払った費用 (注1)企画旅行の場合は帰国のため必要となった費用のうち、に予約額内滞の滞りでの費用が上記の中途帰国費用を上回る場合は次の費用とします。 ①航空運賃等交通費 ②宿泊費および諸雑費 (保険金額が20万円を超える場合は、合計で20万円が保険期間中の限度となります。) (注2)上記費用(注1)の費用を含みます。]には、今後支払うべき費用を含み、払戻しを受けられる額および出国中止または中途帰国した後も使用できるものに対する費用は除きます。	前記①、②、④、⑦に加え、たとえば次のような原因により負担した費用 ・日本国内における地震、噴火、またはこれらによる津波 ・妊娠・出産・早産および流産による入院 ・渡航先(渡航予定先を含みます。))以外で発生した戦争、その他の変乱(注) ・ 保険料領収前または契約日より前に、保険金支払事由もしくは原因が生じていた場合 など (注)戦争危険等免責に関する一部修正特約が付帯されているため、テロ行為はお支払いの対象となります。

レンタカー特約のご注意

自動車運転者損害賠償責任

米国(ハワイ・グアム・サイパン・フェルトリコを含みます。))またはカナダで弊社指定のレンタカー会社でレンタカー(自家用乗用車、自家用乗貨兼用車、二輪自動車および原動機付自転車)に限りませう。を借り、事故を起こしてしまった場合に…



レンタカー会社が付けている保険等で支払われる保険金額を超えた場合に、**1回の事故につき対人1億円、対物500万円を限度として損害賠償金**などをお支払いいたします。

弊社指定のレンタカー会社	
●ハertz社	●エイビス社 ●ナショナル社 ●バジェット社 ●トヨタ社 ●ダラー社 ●ニッポンレンタカー・グアム社
●アラモ社	●ジャパンレンタカー・グアム社 ●ニッサンレンタカー・グアム社

海外での自動車事故処理は、法律および保険内容が日本と異なり注意が必要です。本特約に関しては次の点をご確認の上、ご契約いただけますようお願いいたします。

- ①損害の額がレンタカー会社の付保している保険契約等(自家保険を含みます)で支払われる金額を超えた場合に限り、その超過額のみを保険金としてお支払いします。
- ②事故の際にはレンタカー会社が契約する保険会社とお客様との間で解決していただきます。レンタカー会社が付保する保険の保険金額を超えた場合には弊社が連携して事故の解決にあたりませう。本特約は日本の自動車保険と違い、示談代行サービスは付いておりませう。従いまして、事故の解決に当たっては、まずは、レンタカー会社が契約する保険会社にご報告、ご相談の上、処理を進めていただく事になります。
- ③賠償金額がレンタカー会社の付保する保険の保険金額を明らかに超える場合、もしくは超えるおそれのある場合には、速やかに弊社にご連絡ください。賠償金額の決定には事前に弊社の承諾を必要とします。
- ④レンタカー自体の車両損害はお支払いできません。
- ⑤他の方がレンタカーの契約者となる場合で、本特約の被保険者がレンタカーの追加運転手の申請をしていない時はお支払いできません。
- ⑥被保険者の配偶者、父母、子供または被保険者の業務(家事を除きます)に従事している人に対する事故はお支払いできません。
- ⑦競技、競争、試運転、興行などのために使用している間に生じた事故による損害賠償はお支払いできません。
- ⑧保険契約者、被保険者の故意による事故の損害賠償はお支払いできません。